

流山市第 4 次男女共同参画プラン 主な指標について（令和 3 年度概要）
令和 4 年度第 4 回男女共同参画審議会にて報告済み

主な指標の網掛け部分は、令和 3 年度に目標値を達成した項目です。

2 2 項目中 7 項目が目標値を達成し、令和 2 年度の 4 項目から 3 項目（審議会等への女性の登用率、生きがいを感じる高齢者の割合、防災会議の女性委員の割合）増加しています。

主な内容は以下のとおり。

（ 1 ） 1 番の指標：男女が平等に扱われていると思う市民の割合は、まちづくり達成度アンケートの結果です。

平成 2 8 年度から「社会全体」、「家庭」、「職場」、「学校教育の場」、「法律や制度上」、「社会通念・慣習」の 6 項目に分けて男女平等感を調査しています。実績値の 4 3 . 5 % は 6 項目の平均値であり、令和 2 年度の 4 4 . 2 % と比較して 0 . 7 ポイント微減しました。6 項目のうち「平等である」と感じている市民の割合が 1 番高いのは、「学校教育の場」においてであり令和 2 年度と変わりませんが、実際に「学校教育の場」において「平等である」と思う市民の割合は 7 6 . 1 % となり、令和 2 年度の 7 7 . 3 % から 1 . 2 ポイント下降しています。

また、全項目において女性より男性のほうが「平等である」と感じている割合が高いです。

（ 2 ） 5 番の指標：男性職員の育児休暇制度の周知率は 1 0 0 % で、令和 2 年度に引き続き、目標を達成しました。

（ 3 ） 8 番の指標：審議会等への女性の登用率（執行機関を除く附属機関等）は、令和 3 年度 3 月末時点で 4 0 . 2 % となり、目標の 4 割を達成しました。「流山市教育支援委員会」における 8 0 . 0 % という結果をはじめ、女性委員が目標値を優に超える審議会等も複数ある反面、審議会によっては、公募枠に女性の応募が少ない、学識経験を有する者に該当する女性が少ない、専門的見地を有する女性研究者が少ない等、短期間での解決が困難と思われる課題を抱えている状況があります。専門性を求められ、かつ、業務の負担が大きい審議会においては、団体に依頼している委員の推薦要件に、積極的に女性を登用するよう求めることは難しいという担当課の意見もありました。

令和 4 年度中に改選予定の審議会等の担当課に対して、女性委員の比率向上に関する調書作成を依頼し、比率向上の具体的な方策を検討する機会を設けています。

- (4) 9 番の指標：女性のいない審議会は、令和 3 年度末時点で、政治倫理審議会 (公募有)のみです。
- (5) 1 0 番の指標：市女性職員の管理職への登用率は、19.6% (224人中44人)(令和3年4月1日時点)であり、令和2年度の18.6% (220人中41人)から1.0ポイント増加した。登用率は、教育委員会の管理主事等5級管理職を含む数値です。
なお、令和4年4月1日時点の登用率は、19.1% (230人中44人)。部長職に女性の登用はあったが、女性の登用人数に変更はなく、管理職全体の人数が増加しています。
- (6) 1 2 番の指標：男性の家事・育児・介護に費やす時間は、平日で1.0時間、休日で1.6時間となり、令和2年度の平日で0.9時間、休日で1.4時間からわずかに増加しているものの、平日・休日ともに目標値には達していません。なお、この数値はまちづくり達成度アンケートを基に、平均値を算出しています。
平日・休日ともに1時間未満と回答している男性が多数いる一方で、平日では6.6%、休日では18.3%が3時間以上(7.2%が5時間以上)費やしていると回答しており、個人差が大きい結果となっています。
- (7) 1 4 番の指標：「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている人の割合は8.7%で、令和2年度の9.6%より0.9ポイント減少(改善)しました。
- (8) 1 9 番の指標：防災会議の女性委員の割合は25.0%となり、令和2年度の18.8%から6.2ポイント増加し、目標を達成しました。
流山市の第4次プラン策定後に、国の第5次男女共同参画基本計画の成果目標が示されており、都道府県・市町村防災会議における女性委員の割合を令和7年度までに30%としているが、昨年度より増加していることを評価したいと考えます。